

しゆ しょうらい きぼう
主にある将来と希望
ほしゆうみん てがみ
-バビロン捕囚民への手紙-



しゆ したが こと さまた
〈序〉主に 従う事を妨げるもの

どうか しゆくふく
I. 同化ではなく、祝福となれ

ほしゆう たみ
1. すべての捕囚の民に 4v

いえ た す
2. 家を建てて住み… 5-6v

まち へいあん もと
3. その町の平安を求め 7v

けいかく しゆ もと
II. 計画ではなく、主を求めよ

ななじゅうねん み
1. 七十年の満ちるころ 10v

しょうらい きぼう あた
2. 将来と希望を与える 11v

もと
3. わたしを求めらるなら 12-13v

わたし自身、あなたがたのために立てている計画をよく知っている——主のことば——。それはわざわざではなく平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。(エレミヤ 29:11)

分かち合いのための質問

- 1.バビロン捕囚の出来事が自分に起こったとすると、あなたはどのように考え、行動しますか。
- 2.その困難でなかったら気付かない事、改まらなかった事など、どんなことを想像しますか。
- 3.祝福となるとはどんな事ですか。主を求めらる目的はどのような事ですか。あなたにとっては？